

一吟徹心霊  
一曲能興国

錦友…第314号

〈令和5年7月20日〉

・編集・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
・発行・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
東京都港区麻布十番2-4-14  
電話:東京03-5484-3301(代)  
〒106-0045

令和5年度 定時総会

（令和4年度事業報告並びに収支決算と  
令和5年度事業計画並びに予算が承認される）

令和5年度定時総会は、令和5年6月23日（金）9時30分より、静岡県熱海市のニューウエルシティ湯河原に於いて、各地からの会員の参加のもと開催されました。この総会では、令和4年度の事業報告と収支決算及び令和5年度事業計画と予算について審議が行われました。

暑中お見舞い  
申し上げます

吟界の諸先生はじめ会員の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかに過ごされたことと存じます。新型コロナウイルスも五類に引き下げられ、あちらこちらで活発な活動が再開されたとはいえ、油断できない状況が続いています。今後も、感染に気を配りながらの活動をするしかありません。今年もまた例年のない猛暑です。ご自愛くださいまして、ご健勝と併せ、益々のご発展をお祈り申し上げます。  
令和五年 盛夏

（一社）詩吟朗詠錦城会 宗家 山元錦城  
詩吟朗詠錦城会 会長 城戸城濤

開会の辞・・・東本錦伶  
会長挨拶・・・城戸城濤  
開会の挨拶をされる城戸会長



◇議長及び  
議事録署名人の選出◇

議事進行に当たり、次の方々が議長及び議事録署名人に選出されました。

- 議長 土田城紘(滋賀)
- 署名人 芹澤城征(福島)
- 吉松城勇(宮崎)



土田城紘議長

◇提出議案◇

- 第1号議案 令和4年度事業報告書承認の件
- 第2号議案 令和4年度収支決算書承認の件
- 第3号議案 令和5年度事業計画書承認の件
- 第4号議案 令和5年度収支予算書承認の件

第5号議案 令和6年4月1日より令和6年6月30日までの暫定予算書承認の件  
以上の議案についての審議が行われ、各議案とも賛成多数で承認されました。

◇報告事項◇

- ① 会議開催の報告
- ② 傘下団体の認可及び閉鎖の報告
- ③ 組織体長等の変更の報告
- ④ 会員数報告
- ⑤ 特別賛助会員の報告
- ⑥ 団体指導に関する報告
- ⑦ 全国大会開催地に関する報告
- ⑧ 令和6年度 福岡
- ・令和7年度 函館
- ・会員異動状況書
- ・会議日程計画書(参考資料)
- ・全国師範会決算報告書

◇会員増強表彰◇

令和4年度中に新入会員を5名以上加入させた方2名を表彰しました。  
岡田錦翔(京都府)  
金子錦佑(長野県)

閉会の辞・・・金子城大  
会員各位には、令和5年度の事業遂行に当たり引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和4年度 収支計算書  
 令和4年4月1日から令和5年3月31日  
 (単位 円)

科目	決算額
I 事業活動収支の部	
1 事業活動収入	
① 基本財産運用収入	339
② 入会金収入	62,500
③ 会費収入	23,303,850
④ 事業収入	4,373,000
⑤ 雑収入	201,756
事業活動収入計	27,941,445
2 事業活動支出	
① 事業活動支出	17,108,658
② 管理費支出	13,587,254
事業活動支出計	30,695,912
事業活動収支差額	△ 2,754,467
II 投資活動収支の部	
1 投資活動収入	0
2 投資活動支出	800,000
投資活動収支差額	△ 800,000
III 財務活動収支の部	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	△ 3,554,467
前期繰越収支差額	48,382,398
次期繰越収支差額	44,827,931

(令和5年度定時総会第2号議案資料)

貸借対照表  
 令和5年3月31日現在  
 (単位 円)

科目	決算額
I 資産の部	
1 流動資産	45,175,542
2 固定資産	
(1) 基本財産	20,000,000
(2) 特定資産	3,730,000
(3) その他の固定資産	142,512,678
資産合計	211,418,220
II 負債の部	
1 流動負債	347,611
2 固定負債	0
負債合計	347,611
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	0
2 一般正味財産	211,070,609
正味財産合計	211,070,609
負債及び正味財産合計	211,418,220

指導者講習研修会

令和5年度の指導者講習研修会は、6月22日(木)、静岡県熱海市のニューウェルシティ湯河原に於いて開催されました。当日は、一二二名の申込者がありました。13時30分から西川錦洗総師範の開会の辞で始まり、

尺八伴奏は、河野正明先生、高橋慧山先生、1番から37番までは、2〜3人の連吟、38番からは独吟で、最後の本村錦香先生の吟迄、84番の発表がありました。

宗家による講習

18時近くまで熱吟が続き、宗家の講評に続き、竹崎錦里総師範の閉会の辞で終了しました。

指導を受けた会員は次の方々です。

令和5年6月23日13時より、宗家による講習が行われました。昨日の吟詠発表会の講評の続きと、昨日、吟を発表した会員のうちから6名を選んで、それぞれが宗家の前で一吟を披露し、その吟についてのご指導を受けました。会場で聞いていた側は、指導の仕方の勉強に大変役立つと思います。



講習会の様子

- 星 城星(福島)
- 上野 錦美(奈良)
- 安田 錦義(神奈川)
- 小野寺 錦泉(宮城)
- 岸 錦晶(愛知)
- 吉田 錦粹(奈良)

新入会員の紹介

(3/20〜6/19)

- 鹿兒島支部 嘉 頼宜 内門満
- 里子 川崎和子
- 小倉支部 奥尾勘治
- 間垣支部 藤井まお
- 大口道場 淵脇和子
- 気仙沼支部 小野寺久仁子
- 能登川支部 疋田孝子 中村久美子
- 夜市道場 小西和親
- 日立支部 佐藤節子 古川信子
- 泉 利子
- 府中支部 芝内和人
- 米原支部 桂田貴子 福井弘子
- 長崎支部 清水邦広

佐久道場 熊谷政展 小林直文  
 工藤優太

福山松浜支部 藤井律郎

大宰府道場 前田むつ子

古川道場 安部智奈美

神戸垂水支部 宮部 健

稲沢支部 蘭田 武

沼隈支部 岡本律子

平東支部 阿部ひろみ

瀬田支部 池谷清栄

佐世保支部 平野英子 黒崎孝子

大隅道場 奥野 律

本部の動き (5.3.11より 5.6.15まで)

3月11日 東京都本部の講習研修会

26日 気仙沼支部50周年記念大会

4月8〜9日 大阪府本部の講習研修会と昇格審査

15〜17日 茨城県本部の講習研修会と昇格審査

27日 第13回 詩舞道錦城流全国大会

5月12日 常務理事会

20日 理事会

28日 滋賀県本部55周年記念大会

6月11日 長崎県・佐賀県本部昇格審査

12〜13日 長崎県本部の講習研修会

# 令和5年度 事業計画書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## 〔事業計画〕

### 事業(1) 吟詠、詩舞、琵琶に関する公演の実施（予算12,927千円）

詩吟全国大会・・・10月8日（日）滋賀県彦根市

詩舞全国大会・詩舞道錦城流第13回全国大会・・・4月27日（木）  
鹿児島県鹿児島市

### 事業(2) 吟詠、詩舞、琵琶に関する講習会、研修会の実施（予算2,703千円）

#### 一. 全国詩吟講習・研修会

令和5年度第一回指導者講習・研修会・・・5年6月22日（木）～23日（金）  
静岡県熱海市

二. 全国詩舞講習・研修会は随時開催

三. 琵琶吟舞曲講習・研修会は随時開催

四. 傘下認可団体各都道府県本部講習・研修会

各都道府県本部講習・研修会については、各都道府県本部単位に行うよう奨励

### 事業(3) 公演のための邦楽、洋楽を含む総合芸術の調査研究並びに自主制作の実施（予算2,159千円）

#### 一. 琵琶吟舞曲の自主制作・調査研究

琵琶吟舞物語、琵琶吟舞曲の創作に関し、広く資料を集め、調査研究に努める。

#### 二. 琵琶芸術の振興

琵琶吟舞物語、琵琶吟舞曲の振興並びに琵琶演奏者の育成と技術向上に努めると共に発表会を行う。

### 事業(4) 吟詠、詩舞、琵琶に関する図書の刊行、機関誌の発行（予算1,592千円）

機関誌「錦友」の発行 313号～316号の4回発行する。

### 事業(5) 吟詠、詩舞、琵琶に関する広報・宣伝の実施（予算334千円）

ホームページ改訂と広報・宣伝並びに情報開示に努める。

### 事業(6) 吟詠、詩舞、琵琶に関する合同事業への参画（予算1,475千円）

#### 一. 吟道之碑顕彰と維持管理

11月26日（日）静岡県沼津市「プラザヴェルデAホール」にて碑前祭行事を関係団体と共催する。

二. 日本伝統文化吟友会 全国決勝大会 令和5年11月23日（祝）埼玉県草加市

三. 二十一世紀詩歌朗詠懇談会

四. 他会等との交流

### 事業(7) 吟詠、詩舞、琵琶の普及並びに振興を目的とする団体への支援

#### 本会傘下認可団体の大会公演への後援（予算610千円）

#### 一. 都道府県本部大会

滋賀県本部55周年記念大会・・・5月28日（日）滋賀県彦根市

茨城県本部60周年記念大会・・・9月10日（日）茨城県水戸市

#### 二. 支部・道場・吟詠部大会

福岡県3支部3道場公開発表会・・・5月28日（日）福岡県春日市

#### 三. 公開発表会・開拓普及発表会

### 事業(8) その他、各号に定める事業に関する事業（予算358千円）

#### 表彰事業の実施及び特別賛助会員の募集事業

一. 会員増強に対する表彰

二. その他の表彰

功労表彰

三. 本会の趣旨に賛同し、後援者である特別賛助会員を募集する

### 事業(9) 不動産賃貸業（予算480千円）

本会所有の「錦城会館」の一部を賃貸する。

# 草薨専務のご逝去を悼んで

一般社団法人詩吟詠錦城会  
会長 城戸城瀧



草薨城輝先生

詩吟朗詠錦城流総師範・一般社団法人詩吟朗詠錦城会専務理事、草薨城輝先生の訃報に接し、

5月20日総本部で開催された理事会に出席の理事一同大いに驚き、「残念・無念」の声が理事会を包みました。

しかし、本当に「残念であり無念」であったのは、あなた自身であったであろう事を思い、唯々ご冥福を祈り黙とうをささげたのでした。

しかも、5月8日頃、奥様から頂いた錦城会宛と宗家宛の手紙によると、その時は既にご遺族による家族葬での見送りの済ませ、命日は4月17日であったとの報に、先生の余りにも急なご逝去にご家族の狼狽と驚きが察せられ改めて、ご遺族への哀悼の念を深く致した次第です。

さて、貴君は昭和39年2月に入会されましたが、昭和19年11月16日生まれのお貴君は、当時20歳だったのです。以来、幾多

の足跡を残されていますが、最初の仕事は昭和44年初代部長として立ち上げた世田谷支部の青年部設立でした。当時、世田谷は総本部の所在地でもあり、実質青年部の誕生は、この時に始まったと言つていいでしょう。

昭和52年流祖の死去に伴い二代目を襲名された現宗家は、会の法人化を強く望まれ、それを受けて、私を始め金子、草薨、土師氏らによる社団法人化推進委員会を結成、5年余りに亘る文化庁との折衝の末、平成2年社団法人認可を得たのですが、その間の貴君の活躍も見事なものでありました。その後、平成24年、公益法人に関する法律の改変に伴い、一般社団法人としての認可に至る過程でも、定款、その他諸規定の制定に関して、貴君の知識と経験が大きな支えとなりました。

会報「錦友」の編集委員長としての活躍も多年にわたり、後任の育成まで見事に果たされました。編集と言えば、「五十年記念史」の編集委員として、実質、編集委員長の立場で企画・編集にかかわり、当会「半世紀

の道のり」をまとめられ、今でも貴重な全国支部・道場の変遷の記録として、その価値は未永く称賛されるべきものと考えます。

元気な高齢会員の多い我が錦城会に於いては、78歳での逝去は惜しんでも惜しみ切れない大きな損失であります。将にこれから、と貴君も考えていたに違いありません。奥様の手紙によると、死の直前まで錦城会の将来を心配していたそうで、奥様にしてみれば、少しは家族の事も気にかけて欲しかったという思いではなかったでしょうか。

指導面では、世田谷支部長、

東京都本部長として後進の育成に努められ、会務に於いては、理事・常務理事そして専務理事として重責を担ってきてくれました。

ご自身、琵琶も勉強され、宗家としても、これからの舞台監督としての成長を大いに期待されていたのではないのでしょうか。悔やんでも、悔やんでも残念でなりません。貴君の錦城会へのご功績と熱い思いを胸に、残された会員一同将来に目を向けて、頑張つて参ります。どうか、安らかに眠り下さいますようお願いいたします。

合掌

の継承の節目とも言える。そこは、生前の善悪が介在しない平等な行先であると。  
お元気な頃の「カツ」となる自分を「瞬間湯沸かし器」なんだと言っていました。そのようなものを今風にカツコ良「ティファール」と言うのよと改名してあげましたよね。黄泉の国で、お湯を沸かして流祖とお茶をし乍ら、錦城流錦城会が安泰であるには・・・をテーマに会話をし、良い方向へお導き下さいね・・・早過ぎるお二方へお願いです。半世紀以上の錦城会の友、正に「錦友」を偲び・・・  
合掌

## さっさと逝ってしまった錦城会専務理事 草薨城輝総師範を偲ぶ

錦城会理事 東本錦伶

令和5年2月21日入院から4月17日のご逝去。あつという間の出来事でした。3月14日にお見舞いに伺った時、「僕は死なない、必ず蘇る」「また流祖墓参に・・・」等と言っていた。その強い思いも叶わず・・・。「人は、病気でなく寿命でこの世を去る」との話を誰からか聞いたことがあるが、草薨氏は、今年11月で

79才になる筈だったのに、9の坂を越えることない寿命だったのか・・・。  
東京都本部長・遠藤城啓さんとお宅にお参りに伺った折の奥様のお話、「医科歯科大学に転院してからはずっと詩吟の話、ベッドで詩吟を詠つたり、会服を持ってきてくれ等。亡くなつた事を遅れてお知らせしたのは、30kgも痩せた姿を見せるのは忍びなかった・・・」とも。それもわかる気がする。  
その死をきっかけに、「生」の意味を調べてみた。祖先から享けた生を少しでも発展させて子孫に受け継いでゆくことが大切な努めとある。死とは、生命

### 催事のご案内

◆(令和5年7月)6年(3月)◆

◆本会主催 ◆本会後援

◆茨城県本部60周年記念大会

・9月10日(日)

・茨城県水戸市

◆一般社団法人詩吟朗詠錦城会

詩吟全国大会

・10月8日(日)

・滋賀県彦根市

◆吟道之碑前祭

・11月26日(日)

・静岡県沼津市



師忘れがたく そろ  
思い出のひとこま

こんな事がありました。世田谷の玉川台から千葉県南房総迄の車の運転さぞお疲れと思ひ、おしほり・コーヒー・フルーツ・お菓子等色々準備をし、ゆつくりお休みいただき、お稽古が始まります。怠けたわけでは決してありませんが、稽古の前々日、46年ぶりに吾が子同然の台湾の彼女が二泊で訪れた上に、入院中の姉の急な旅立ちとで疲れてしまい、詩文も詠えず・・・。

奔放で大らかな中に、素朴さがあふれ、力強さの中に細やかな心情がにじみ出ているからである。・・・と、教本の中の先生の鉛筆の添削を見ながら「房総の海は明るく青いネ」とおっしゃった先生のお姿を懐かしみつつ・・・「かあちゃん、しんぱいかけてごめんさい。」のメールを残し、先生は旅立たれました。

偲ぶ

瞬間は恐ろしきもの生と死の大き境となりて過ぎゆく

数々の思い出残し先生は母のみもとに旅立ちゆきぬ

過去はみなよきことのみ偲ばるる師とのお稽古日 日 彷徨す

ある夜ふと共にドライブせし鄙の里夕光思ひぬさびさびとして

しづかなるゑまひ浮べし夢を見きこの世の外の人想ふ夜

現し身を吸いこむごときまなざしが淋しき夜の吾にやさしき

握手せし残りの手ざわり愛しきぬ弟子を育てし手の細かりき

(練馬支部 井上錦亮)

『草彌先生、お電話  
お待ちしております』

「館林、下手になつてゐるぞ」

私が指導を始めて、最初の温習会で草彌城輝総師範から言われた言葉である。私にそんな言葉をかけるのは、草彌先生だけだ。

温習会で私の出番が終わると、「館林！今日の吟は：」と草彌先生から必ずその日の吟の批評を頂く。

最初はお願ひしたわけでもないのに、必ず批評されるから、次第に私からも草彌先生に批評を聞きに行くのが温習会での定番となった。

草彌先生が私の吟を聞いていなかった、なんてことは一度もない。必ず指導を頂ける。母でさえ、忙しくて聞いていなかった、などと言うのに。

全国大会の舞台係も一緒に担当した。今でも舞台係のユニフォームは大切な宝物だ。他の大会でも係なら必ず着ていく。私と草彌先生のお揃いのトレー

ドマークだと勝手に思っている。そんな舞台係が楽しくて、全国大会に参加している。

草彌先生と出会ったのは私が大学に入学するために上京した7年前であるが、この短い7年間にたくさん色濃い思い出がある。今も「館林！」と呼ばれる声から離れない。

また秋が近づくと電話でもかかってくるのではないだろうか。「館林！全国大会の舞台係、頼むな！」と。(東京都本部 館林城景)

◆新師範の紹介◆

雅号	県名	取得年月
大堀錦代	(大分県)	5・4
水野錦光	(埼玉県)	5・4
秋山錦瞭	(茨城県)	5・5

◆組織体長の変更◆

日立支部(茨城) 支部長 川崎錦真

お詫びと訂正

錦友第三一三号の(1)頁4段目後ろから12行目の「吃音」は「促音」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。(S)

第70回「武蔵・小次郎まつり」

令和5年が、この行事が開催し始めて70周年。北九州市小倉須賀神社宮司が祭主として神事から始まるお祭り。60年の年も吉澤・東本で参加をし、今年も式典の後の奉納の時間に入り、詩吟朗詠錦城会として吉澤城正総教師範の「宮本武蔵を詠ず」、東本錦伶の「明治天皇御製あさみどり」を献吟させて頂きました。

宮本武蔵の「五輪の書」を若い頃から愛読している一人として厳粛な行事に参加できましたこと大変感慨深い思いが致しました。(福岡県本部長 東本錦伶)

YouTube配信開始のお知らせ  
福岡県本部中央地区  
公開発表会  
6月23日より配信開始

# 詩舞道錦城流全国大会をかえりみて

鹿児島県本部専務理事 國生城庵

令和5年4月27日、かごしま県民交流センターの県民ホールで、第13回詩舞道錦城流全国大会が開催されました。

開会に先立ち、大会の成功と安全を祈願して、詩吟朗詠錦城流宗家・山元錦城先生、一般社団法人詩吟朗詠錦城会会長・城戸城濤先生、詩舞道錦城流宗家・本村緑崇先生及び特別賛助出演者など関係者が舞台上に集まり、県護国神社による祭事が厳かにとり行われました。



そして、ホールの五百九十席も満席のうちに大会の幕が上がりました。宗家・本村緑崇先生の振付構成による演目が次々と披露されました。

全国よりお集まりの詩舞道の会員の皆さんが、詩の心を心とし、ある時は晴れやかに、ある時は勇壮に、またある時は、しっかりと踊られる姿に心を打たれました。



更に詩舞道を通じ、終始会場に流れる流祖の吟声を、一日じつくりと聴けたことは、吟を学ぶ者として、最高の幸せでした。

昭和29年に創設された錦城流、昭和52年に流祖は亡くなられましたが、「二吟心霊に徹す」「二曲能く国を興す」、その素晴らしい吟声は脈々と受け継がれています。

会場の上方で、流祖が微笑みながらご覧になっておられるお



姿を肌で感じた一日でした。私は、中島錦里氏と、司会そして特別番組「道」と「桜の詩華」の解説を担当させて頂きました。無事大役を終えられたことに安堵しております。有り難うございました。改めて詩舞道錦城流の益々の発展をお祈りします。

# 第十三回詩舞道錦城流全国大会に参加して

私は、総師範・西川緑恵先生のもと、令和元年に詩舞道錦城流に入会いたしました。全国大会は初めて参加させて頂きました。あのような大舞台で舞うことは、日頃、真面目に練習をしていなかった私にとっては、かなりのプレッシャーで、不安材料一杯の中の大会でした。

しかし、全体練習では、一緒に舞う方々が、出番直前まで舞いのご指導を下さったお陰で、安心して落ち着いて舞うことが出来ました。曲に、吟に合わせて舞台で舞っている自分になぜか感動した次第です。

それもこれも、この大会に、宗家先生を始め、役員の皆さま方が一丸となって大会を成功させる「心意気」があったからだと気が付きました。

控室で一緒だった鹿児島の方々等も優しく「どうでした?」「着替え手伝いまししょうか?」「雰囲気づくりに気を配って下さった事もしかり、舞台を終えた者同士がすれ違えば「お疲れ様!」「頑張つてね」とお互い声を掛け合う姿。知らなかった者同士が。笑顔で声を掛け合う事の出来る事こそが、大会を成

功させる為の「力」なんだと改めて感じました。

私にとっては、何もかもが新鮮な経験でした。この大会に参加したお陰で、もう少し頑張つて詩舞をやって行ける気持ちにさせてくれました。

(広島 山田利英子)

第13回詩舞道全国大会が、3年の我慢の中迎えられ、喜びもひとしおでした。その間に、自分が衰えている事に気づきました。とてもくやしかったです。でも、広島会の会員さんも、それぞれにお勉強になった事はもちろん、思いやりや何かにつけ感謝することやらで、大変参加して良かったという事でした。

最後に、宗家・本村先生のご指導の下、事務局の方々に大変なお力を尽くして頂きました事、心より感謝申し上げます。(広島 西川緑恵)

まずは  
あなたから 声かけを

(会員増強のための 声かけ推進標語)

(錦城会員向け)

# 気仙沼支部五十周年記念大会

令和5年3月26日、気仙沼中央公民館にて、記念大会を開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、開催が危ぶまれることもありましたが、無事開催に至りました。

大会には、宗家・山元錦城先生にご臨席を賜り、会長・城戸城濤先生、宮城県本部長・藤田錦信先生にご出演いただきました。また、琵琶絃・歌・吟で青森県の村上城修先生、尺八で河野正明先生、解説で一龍齋貞心先生の賛助出演もいただき、多くの市民の方々に感銘を与える記念大会となりました。



詩吟詠 錦城流 一般社団法人 詩吟詠 錦城会認可  
気仙沼支部五十周年記念大会

プログラムは、4つの企画形で構成、はじめに「唐詩十撰」次に「桜の詩華」を行い、途中、式典を入れて後半が琵琶曲「義経の生涯 五條の橋」と「母を憶う詩」を発表しました。「唐詩十撰」と「桜の詩華」においては、市内の親子による躰道の演武と、同じく市内の書家による「書道吟」を行っていただき、趣に富んだ大会になりました。



書道吟

後半、城戸先生、村上先生及び河野先生の3名により琵琶の演奏を聴く多くの市民の方々が、大変素晴らしい圧迫されるほどだったと話してありました。会場は、12年前の東日本大震災で被災し、昨年再建された新



躰道の演武

中央公民館ホールで行いました。黒田長政公四百年大祭に参加しての報告を2名の会員に綴ってもらいました。

## 「黒田長政公四百年大祭」福博文化芸能の集い」を終えて

福岡中央道場・木下城玄総教師範の所属する籐香会からの声掛けで、満開の桜の中、参加場所は、万葉の時代、外国の使節の迎賓や遣唐使などの送別の儀式を行った建物とされる「鴻臚館」の広場にて開催。福岡ドームができるまでは、平和台球場だった広い場所です。そもそも籐香会は、旧黒田藩歴代藩主の遺徳と功績を顕彰するための団体、福岡の歴史や文化に詳しい方々ばかり、筑前琵琶や筑紫舞や福岡黒田藩傳古武道等の出演もあり。錦城会の演

客席数は三百三十席ですが、大会当日は、ほぼ満席になるほど多くのお客様に来ていただきました。また、2時間の大会終了時には、多くの皆様から、「大変素晴らしい大会だった」、「感動して涙が出る思いだった」と賞賛の声を頂きました。お陰様で、盛会裏に開催出来ました事は、多くの関係者のご協力・ご支援によるものと、あらためて心より深く感謝を申し上げます。

（気仙沼支部 熊谷城精）  
（福岡県本部長 東本錦怜）

目は、郷土に因んで、松口月城の「名槍日本号」の吟に詩舞、平野国臣の和歌「わが胸の」、小野老の「あおによし」等、最後に「日本讃歌」を担当の東本錦怜総師範含め全員で広場一杯に高らかに吟じ、会の方からも高評価を得ることができました。主催者が司会に地元福岡修猷館高校のアナウンス部の生徒を起用、若い力を取り込んでいることに、今後の参考になりました。これから、色々な場で吟じ、少しでも若い世代に知ってもらえるよう、初代宗家の「詩吟を

東日本大震災で被災し昨年再建された新気仙沼中央公民館



「芸術に」を指標に東本錦怜先生のご指導のもと、精進したいと思います。

（福岡中央道場 高倉錦与）

春光まぶしき中で、大空に向い詠うことが出来、感謝感謝!! 改めて、この平和な時が続きますようにと、詩吟を老若男女、国内外の方々に知って頂きたい。その思いが更に高まる一日でした。

（福岡中央道場 江口錦道）

# 滋賀県本部五十五周年記念大会

湖国周辺の山々が新緑に深まる好季節に、このたび（一社）詩吟朗詠錦城会滋賀県本部55周年記念大会を「ひこね市文化プラザ・グランドホール」にて開催いたしました。

本大会を開催するにあたりまして、詩吟朗詠錦城流宗家・山元錦城先生、錦城会会長・城戸城濤先生には、お忙しい中ご臨席頂き、また、各方面の先生方のご賛助を賜り心から厚く御礼申し上げます。

滋賀県本部は、故山本城獄先生によって彦根の地に詩吟が誕生し、その10年後に県本部が設立されました。先生が育成されました多くの指導者の皆様、湖北、湖南、名古屋、大阪へとそれぞれ吟道を広められ発展に至った様です。最高二千六百人そんな時代もありました。

今年、10月に全国大会を控え、滋賀県本部長・林錦枝先生の勇気ある選択により、コロナ感染など社会情勢はありますが、会員みよの「賑やかに集ウ」を重視し、開催いたしました。「会員が一堂に会す」これが最も重要不可欠な事だとの決断です。一つでも思い出を心に残し、詩吟を生涯の友として生きていきたい



「吟道」



和歌「あさみどり」



「中国の春」



「中国の春」



大会当日は、梅雨入り前の快晴に恵まれ、有意義な一日を過ごすことができました。県内の吟友と久しぶりにお出会いすることができ、詩吟を続けること「継続は力なり」を実感した次第です。コロナ禍が緩み社会生

ものです。昨今は時代の流れなのでしょいか、若人がなかなか日本伝統文化に触れることなく減少していく傾向があります。一人でも多くの人に幾度となくお声かけをして努力していくことが一番手堅いのではないのでしょうか。今大会を機会に、滋賀県本部が益々元気で発展していきまよう、何卒皆様の力強いご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

大会当日は、梅雨入り前の快晴に恵まれ、有意義な一日を過ごすことができました。県内の吟友と久しぶりにお出会いすることができ、詩吟を続けること「継続は力なり」を実感した次第です。コロナ禍が緩み社会生

活が通常に戻りつつある中、詩吟を通じて語り合う仲間がいることは人生の喜びです。10月の全国大会で吟友の皆様にお会いできること楽しみにしています。

彦根での全国大会を前に  
彦根 探索  
埋木舎（うもれぎのや）  
〜開国の父が、花の咲く日を静かに待った支度部屋〜  
彦根藩第13代藩主で江戸幕府の老を務めた井伊直弼が、青年時代を過ごした屋敷跡。嫡子ではなく庶子であった直弼は、この質素な屋敷で剣術や馬術、政治、茶道、和歌などの文武両道の修養に励んだといわれる。生涯をこの屋敷で過ごさねばならないと知った直弼が、その心境を詠んだ歌「世の中をよそに見つても埋れ木の埋もれておらむ心なき身は」にちなみ、「埋木舎」と呼ばれるようになったと伝わる。埋木舎の建築年代は不詳だが、昭和の解体修理時の調査では、宝暦9年（1759年）の銘が入った瓦が見つかっており、少なくとも直弼居住の七十数年前に建てられたことがわかってい。掛け軸や屏風、愛用の書道具などが展示されている邸内や茶室の様子を庭から見学することができる。（S）

福岡県本部内での活動報告記事並びにその行事に参加した方々の感想文、新人の参加感想、賛助出演の方の感想等、様々ですが、ご高覧頂けければ幸いです。

福岡県本部長 東本錦伶

詩吟朗詠錦城会 福岡中央地区

公開発表会

令和五年五月二十八日(日) クローバーホール

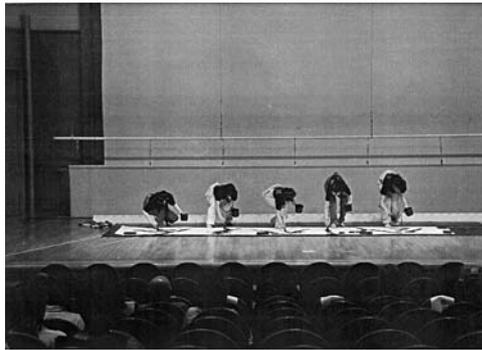
福岡中央道場 江頭英世

今回の公開発表会に参加させて頂きました。国歌斉唱に続き、開会の言葉を仰せつかり、大過なく終えたところで、福岡県立筑紫中央高等学校書道部の皆さんが、太鼓の伴奏に合わせて、横断幕に「公開発表会」の文字を書くという企画があり、その躍動あふれる筆の動きと書体の迫力に参加者とともに感動しました。また、今回初めて独吟で「山行」を吟じさせて頂きました。合吟とはまた一味違う緊張感に包まれましたが、江口錦道先生のご指導のおかげで、自分なりに落ち着いて発表出来たと感じるとともに、次への一歩と云ったと感謝しております。

福岡県立筑紫中央高校

書道部顧問の先生から

先生方の詩吟、琵琶、感動いたしました。特に東本先生は、身震いするほどの感動があり、伝統文化の素晴らしさを感じました。



北村美空さん

今まで挑戦したことのないパフォーマンスの形でしたが、楽しみながら出来たので良かったです。

沢田松菜さん

普段あまり馴染みのない詩吟に乗せて書道が出来たことは、とても貴重な経験になりました。また、詩吟の奥深さを感じることができて良かったです。

神崎夕佳さん

予想してなかったことがたくさん起きて、思い通りに行かなかった部分もあったけど、最後まで自分たちの力でやり通すことができてとても嬉しかったです。

横山純伶さん

緊張したけど、とても楽しかったです。それから、詩吟で今まで書道で書いた和歌などが出て面白かったです。

多良葵さん

貴重な体験をありがとうございました。初めての体験で、たくさん学ぶことができました。

中野琴さん

迫力が凄くて、授業などで教わった俳句などもあって、とても楽しかったです。

佐藤瑠依さん

緊張したけど、大きな会場で貴重な経験が出来て楽しかったです。

廣瀬莉菜さん

貴重な体験を本当にありがとうございました。日本の伝統である書と詩吟の魅力を、私たち高校生が繋いでいけるよう頑張ります。



華道吟に出演して

新池坊 平田不二香

いつも大変お世話になっていいる福岡県本部長東本錦伶先生に声をかけていただき、華道吟に賛助出演させていただきました。

今回の公開発表会は、福岡県立筑紫中央高校書道部の生徒さんが、ステージ上で、垂れ幕に「公開発表会」の5文字を見事に書くパフォーマンスから始ま

り、会場のお客様の拍手喝采からのスタートでした。



続く華道吟で、私は、生け花を披露させて頂きました。「詩吟朗詠錦城会」と「華道新池坊」、ふたつの日本の伝統文化のコラボレーションです。吟じる声は、お客様の心に響き、季節のお花を目で楽しんで頂けるステージだったのではないのでしょうか。生ける私も心から楽しませて頂き、また、大変勉強になりました。その後の数々の発表もすべて素晴らしいもので、「我が人生に詩吟あり」と、詩吟を愛し、励んでいらつしやる皆様の生き生きとした表情がとても印象的でした。今回、このような機会を与えて頂いたことを、心より感謝申し上げます。

# 「CD流祖吟詠集」のご案内

- 内 容 「カセットテープ・流祖山元錦城吟詠集 全13巻」を教本順に並べ、CD・8枚に編集しました。  
歌詞カードは付属していません。( )内は教本編数。
- 品 名 「CD流祖吟詠集」(1)～(8)
- 価 格 各1枚 2,000円 (送料・消費税込)
- 申 込 み 教材注文書、またはハガキ等にて、お申込みの品名(CD番号)と数量・お名前・ご住所・電話番号をご記入の上、下記事務局宛お申し込み下さい。  
(錦城流事務局) 〒106-0045 東京都港区麻布十番2-4-14 電話 03-5484-1107

## CD流祖吟詠集(1) ・吟詠教本第1編より

- 1 富士山(1-1) 2 宝船(1-2) 3 題壁(1-3) 4 題太田道灌借蓑図(1-4) 5 大楠公(1-5)  
6 九月十日(1-6) 7 九月十三夜(1-7) 8 遊芳野(1-8) 9 金州城(1-9) 10 題常盤抱孤図(1-10)  
11 題不識庵擊機山図(1-11) 12 城山(1-12) 13 題岩崎谷洞(1-13) 14 宿生田(1-14)  
15 弔亡友月照(1-15) 16 絶命詞(1-17) 17 偶感(1-18) 18 舟至由良港(1-19) 19 訣別(1-20)  
20 残月(1-21) 21 楓橋夜泊(1-22) 22 偶成(1-24) 23 河内路上(1-25)

## CD流祖吟詠集(2) ・吟詠教本第2編より

- 1 爾靈山(2-1) 2 海南行(2-2) 3 赤間関舟中(2-3) 4 泊壇浦(2-4) 5 過遠州灘(2-5) 6 偶成(2-6)  
7 江南春(2-7) 8 大楠公(2-8) 9 大楠公(2-9) 10 桜花詞(2-10) 11 書懷(2-11) 12 獄中作(2-12)  
13 題近江八景図(2-13) 14 逸題(2-14) 15 祝賀詞(2-15) 16 泊天草洋(2-16) 17 山中月(2-17)

## CD流祖吟詠集(3) ・吟詠教本第3編より

- 1 送元二使安西(3-1) 2 夜下墨水(3-2) 3 月夜三叉口汎舟(3-3) 4 貧交行(3-4) 5 赤垣源蔵(3-5)  
6 獄中作(3-6) 7 兎島高德(3-8) 8 本能寺(3-9) 9 秋思詩(3-10) 10 不出門(3-11)  
11 前兵児謡(3-12) 12 兵児謡(3-13) 13 花月吟(3-14) 14 春望(3-15) 15 和異国丘(3-17)

## CD流祖吟詠集(4) ・吟詠教本第4編より

- 1 弘道館賞梅花(4-1) 2 磯浜登望洋楼(4-2) 3 桂林莊雜詠(4-6) 4 遊芳野(4-7) 5 漫述(4-8)  
6 峨眉山月歌(4-9) 7 早発白帝城(4-10) 8 山行(4-11) 9 勸学(4-13) 10 勸学歌(4-14)  
11 半夜(4-15) 12 四十七士(4-16) 13 静夜思(4-17) 14 棄児行(4-18) 15 曾我夜討(4-20)  
16 軍神広瀬中佐(4-21)

## CD流祖吟詠集(5) ・吟詠教本第5編～第7編より

- 1 獄中作(5-1) 2 白虎隊(5-3) 3 中秋月(5-4) 4 結婚式(5-5) 5 出郷作(5-6) 6 凱旋(5-8)  
7 弔小楠公墓(5-9) 8 秋日偶成(5-14) 9 感事(6-1) 10 自詠(6-2) 11 遊桜祠(6-4) 12 述懷(6-7)  
13 梅花(6-8) 14 垓下歌(6-12) 15 春夜(6-13) 16 中庸(7-1) 17 青之洞門(7-8) 18 春夜洛城聞笛(7-9)  
19 青葉之笛(7-10) 20 名槍日本号(7-13) 21 姫百合之塔(7-19)

## CD流祖吟詠集(6) ・吟詠教本第8編～第9編より

- 1 弔乃木將軍(8-3) 2 後夜聞仏法僧鳥(8-4) 3 吉野懷古(8-9) 4 涼州詞(8-12) 5 水戸八景(8-15)  
6 蒙古来(8-17) 7 安宅関(9-2) 8 平敦盛(9-4) 9 山中鹿之助(9-6) 10 謁赤穂義士墓(9-7)  
11 小楠公母(9-8) 12 英靈自南還(9-13) 13 靖国之遺児(9-14) 14 弔詞(9-15)

## CD流祖吟詠集(7) ・吟詠教本第10編～第13編より

- 1 夜坐(10-1) 2 楠公墓前作(10-8) 3 新近江八景(10-9) 4 井伊大老(10-10) 5 探春(11-2)  
6 春暁(11-7) 7 山中月(11-9) 8 平和日本(11-10) 9 細川瑤子(11-13) 10 九段桜(12-1)  
11 菊花(12-6) 12 山中問答(12-7) 13 悲恋毬藻歌(12-14) 14 金州城外作(13-3)  
15 題親鸞上人雪中布教図(13-14)

## CD流祖吟詠集(8) ・吟詠教本第14編～第18編より

- 1 雪梅(14-1) 2 示人(14-2) 3 不想身(14-3) 4 新涼読書(14-6) 5 日本精神(14-10)  
6 晚鐘(14-11) 7 冑山歌(14-14) 8 山間秋夜(15-1) 9 和春簾雨窓(15-2) 10 吟道(15-10)  
11 母(非行少年の悔悟)(15-14) 12 静御前(17-10) 13 田子浦夕景(17-12) 14 臨洞庭(18-13)